

鳥屋野中学校学校図書館全体計画

IV-4 各種教育

IV-4-1 図書館教育

1 目指す生徒の姿

- (1) 読書の意義を理解し、本に親しみ、読書の習慣が身に付いている生徒
- (2) 生涯を通じて学び続け、図書館を「読書センター」や「学習センター」、「情報センター」として活用する生徒（令和4年 学校図書館活用推進校の指定）

2 具体的な方策

- (1) 読書の意義の伝達や興味の喚起。
 - ・ 学年部と連携し、全校一斉の朝読書を行う。
 - ・ 新刊図書、推薦図書、朝読書に適した本を紹介する。
 - ・ 図書館日より、図書館放送、掲示を行う。
 - ・ 図書委員会と連携して、年2回の読書旬間を行う。ビブリオバトルなどの企画を実施する。
- (2) 図書・資料の活用の推進
 - ・ 学習センター・情報センターとしての活用を職員に促す。
 - ・ 学校図書館支援センターを利用した資料の借受について職員に周知する。
 - ・ 国語科と協力し、4月に「新入生図書館オリエンテーション」を行う。
 - ・ 各学級に「学級文庫」と学習用の辞書類を置く。
 - ・ 学級（2学年各学級）に「新潟日報」を配付する。

3 評価方法と質問項目、評価基準

- (1) 評価方法
 - ① 教育活動に関するアンケート（7月・12月）
 - ② 図書館の本の貸し出し数
- (2) 質問項目
 - ① 学校や家で1ヶ月間に本をどれくらい読んだか。
- (3) 評価基準
 - ① A：学校や家庭で1ヶ月間に1冊も本を読まない生徒の割合が10%未満である。
B：学校や家庭で1ヶ月間に1冊も本を読まない生徒の割合が15%未満である。
 - ② 一人当たりの貸し出し冊数が、年間12冊以上。

4 共通確認事項

(1) 朝読書について

- 【ねらい】・ 1冊の本を読み通すことを継続し、読書の習慣を身に付けさせる。
・ 読書の楽しさを実感させ、読書を通して豊かな感性を育む。
- 【実施方法】・ 全校朝会と学年朝会を除く週3日、8:20～8:30の10分間を設定する。
・ 学年部職員の巡回と生徒同士による働き掛けを継続する。
・ 朝読書に関するルールを印刷物にまとめて配布し、周知を図る。

【令和4年度の重点資質・能力「情報を収集する・整理する」に関わる取り組み】

学年	時期	場面	取り組み内容
全学年	問わず	各教科・特別活動等	参考資料を用意し、タブレットと併せて調べ学習に役立てる。